

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 令和2年第6回定例会提出予定議案の説明

(12) 議案第192号 川崎市中心部リハビリテーションセンター井田地域
生活支援センターの指定管理者の指定について

資料1 指定管理者指定議案に係る参考資料

令和2年11月18日

健康福祉局

議案第 192号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	中部リハビリテーションセンター（井田地域生活支援センター）
(2) 所在地	川崎市中原区井田3丁目16番1号
(3) 設置条例	川崎市心身障害者総合リハビリテーションセンター条例
(4) 設置目的	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」及び「川崎市地域活動支援センターA型運営事業実施要綱」の規定に基づき、相談支援、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、その他の日常生活に必要な便宜の供与等を行うとともに、他機関と連携した包括的生活支援業務、地域住民ボランティア育成、障害に対する理解促進のための普及啓発等の事業を実施し、並びに、「川崎市精神障害者地域移行・地域定着支援体制整備事業実施要綱」に基づき、精神科病院に入院している障害者の地域移行・地域定着支援、及びその推進体制の整備を行い、もって障害者の地域生活支援の促進に寄与することを目的とする。
(5) 施設の事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する相談支援、地域活動支援センター業務に関すること。 ・川崎市精神障害者地域移行、地域定着支援体制整備事業に関すること ・関係機関のバックアップや地域拠点として地域全体の支援やサービスの質の向上に資すること ・市民相互の交流を促進するために会議室を利用に供すること
(6) 現在の管理者	中部リハビリテーションセンター共同事業体
(7) 現在の管理運営費	5年平均（平成28年～令和2年度）37,781,533円

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	社会福祉法人川崎聖風福祉会
所 在 地	川崎市川崎区池上新町3丁目1番地8
代表者名	理事長 野神 昭雄
設立年月	昭和43年8月12日
基本財産 又は資本の額	基本財産 12億1,736万8,989円（令和2年3月31日現在）
職 員 数 又は従業員数	理事6名、監事2名、職員267名
設 立 目 的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

事業概要 (令和2年度)	(1) 第1種社会福祉事業 ア 救護施設の経営 イ 養護老人ホームの経営 (2) 第2種社会福祉事業 ア 障害福祉サービス事業の経営 イ 相談支援事業の経営 ウ 地域生活支援事業の経営 エ 老人デイサービス事業の経営 オ 老人居宅介護等事業の経営 (3) 公益を目的とする事業 ア 居宅介護支援事業の経営
決算 (令和元年度)	① 事業活動収支 収入 1, 437, 109, 633円 支出 1, 377, 766, 265円 事業活動資金収支差額 59, 343, 368円・・・(1) ② 施設整備等収支 収入 20, 706, 000円 支出 29, 805, 007円 施設整備等資金収支差額 △9, 099, 007円・・・(2) ③ その他の活動収支 収入 3, 482, 440円 支出 51, 753, 500円 その他の活動資金収支差額 △48, 271, 060円・・・(3) (1) + (2) + (3) 当期資金収支差額合計 1, 973, 301円・・・(4) 前期末支払資金残高 382, 954, 948円・・・(5) (4) + (5) 当期末支払資金残高 384, 928, 249円

3 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

項目	事業内容
障害者支援に対する考え方、方向性、取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が心豊かな生活を目指していけるように支援する ・利用者一人一人が尊厳を持った生き方ができるように支援をする ・利用者の人権と人格を尊重し、地域社会の中で生きる術を体得して生きがいを感じるような暮らしを続けていけるようにサービスを提供する ・障害がある人の思いや家族の思いを大切にす

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族及び地域からのニーズを把握し、福祉サービス事業を展開する ・通所施設として、障害者が落ち着いて生活できる環境を提供するとともに、利用者それぞれの状況や家庭環境を考慮して個別支援計画に沿った支援をする ・行政、医療、福祉施設などの様々な関係機関、関係者と連携をとりながら支援をする
<p>施設運営計画(提供するサービスの考え方、日課等)</p>	<p>障害者の地域生活支援及び入院している障害者の地域移行・地域定着支援などを一体的に行うため、次の事項を重点的に実施する</p> <p>【地域生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話や面接、訪問等による相談活動を強化するとともに、個別のニーズにもとづく必要な支援サービスを提供する <p>【相談支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の一般相談・特定相談等については、法人が運営する「桜の風 もみの木」や「なかはら基幹相談支援センター」とも連携をしつつ、一体的なケースワークを実施する ・地域の関係機関との定期的な連絡会やケースカンファレンスを通じた顔が見える関係作りを強化する <p>【ピアサポート活動支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター講座の開催や、その後の相談活動、ピアサポーターの活動支援など、支援体制作りをする <p>【地域移行・地域定着支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院中の方への訪問を重ねることで、退院後の生活への希望や生活能力に関する評価を行い、医療機関と連携体制の強化を図る ・「桜の風 もみの木」との連携を強化し、支援の質を向上させる ・入所部門との一体的運営を強化し、地域移行支援計画において利用者が安心して地域への一歩を踏み出せるよう、医療機関ともタイアップしてクライシスプランを作成する <p>【交流促進（地域との連携）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者と地域との交流促進を図るため、「精神保健福祉ボランティア」の育成を目指す ・地域へ開かれた施設を目指し、町内会とも連携をとりながら、交流促進企画を検討する
<p>他機関等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、障害福祉、介護、住まい、地域の助け合いなどが包括的に確保されたシステムを構築するため、精神科病院等の医療機関、地域援助事業所、川崎市内の行政担当部局との顔が見える関係を構築する ・障害者更生相談所、精神保健福祉センター分室、そして井田日中活動センター、井田障害者在宅支援室や桜の風との連携

	強化を図り、定期的な連絡会の開催を提案して体制の確立を図る
課題の把握及び重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中部リハビリテーションセンターの対象地区である高津、宮前、中原の各区の精神保健福祉医療の領域に携わる支援者、当事者を中心として地域移行に関する事例検討会、勉強会などを開催する ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業における密着アドバイザーの機能と役割を強化する ・市内の病院に対して退院支援プログラムの企画提案やその実現に向けてピアサポーターと協働しながら進める
その他の事業提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポート活動支援事業の推進 ・ピアスタッフの雇用 ・精神保健福祉ボランティアの育成 ・8050問題など引きこもりケースを想定した併走型のアウトリーチ支援への取り組み

6 収支計画

(単位：千円)

項目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					
	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	合計
収入	39,487	39,487	39,487	39,487	39,487	197,435
自立支援費等収入	487	487	487	487	487	2,435
川崎市加算	0	0	0	0	0	
指定管理料	38,600	38,600	38,600	38,600	38,600	193,000
その他の収入	400	400	400	400	400	2,000
支出	39,405	39,358	39,547	38,886	39,478	196,674

別紙

中部リハビリテーションセンター（井田地域生活支援センター）の 指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

応募団体：1団体（社会福祉法人 川崎聖風福祉会）

2 指定管理者選定評価委員会委員

【学識経験者】赤塚 光子（元立教大学コミュニティ福祉学部教授）

【学識経験者】隆島 研吾（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授）

【学識経験者】渡部 匡隆（横浜国立大学大学院教育学研究科教授）*急遽欠席

【学識経験者】行實 志都子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部准教授）

【財務の専門家】内野 恵美（公認会計士）

3 選定理由

中部地域の拠点施設としての運営の基本的理念、関係機関との連携方針について、仕様書に沿った提案がされている。また、ピアサポート活動の支援や精神保健福祉ボランティアの育成など上乘せ提案の内容が効果的であることや、資金収支、財政状況が比較的良好な状態であり、今後も安定した運営が見込まれることから当該団体を選定した。

(1) 施設の設置目的の達成とサービスの向上

地域リハビリテーションに対する基本的な考え方、施設運営計画が妥当であると評価した。

(2) 施設機能の発揮と管理経費の縮減

収支計画において適切な積算がなされており、経費縮減策についても仕様に準ずると評価した。

(3) 事業の安定性及び継続性の確保への取組

業務改善に向けた取り組みが具体的に示されていると評価した。

(4) 応募団体自身に関する項目

資金収支、事業の効率性、財務状況などが比較的良好であり、施設の管理を行うにふさわしい理念についても仕様に準ずると評価した。

(5) 応募団体の取組に関する事項

情報公開や個人情報の保護、コンプライアンス（法令順守）について仕様に準ずると評価した。

(6) その他の事項

制度や市場原理では満たされないニーズや、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンについて対応する取り組みが妥当であると評価した。

4 審査結果（※基準点504点以上）

選定基準	配点	指定管理 予定者
① 施設の設置目的の達成及びサービスの向上	360点	244点
② 施設機能の発揮と管理経費の縮減	140点	84点
③ 事業の安定性及び継続性の確保への取組	120点	73点
④ 応募団体自身に関する事項	120点	77点
⑤ 応募団体の取組に関する事項	60点	37点
基準評価 合計	800点	515点
⑥ その他の事項（地域における公益的な活動）	40点	25点
実績評価点（標準を0点として、加減点）		0点
総 合 計	840点	540点

5 提案額

年 額 38,600千円

指定期間計 193,000千円